取扱説明書

DAYTONA corp.
R64207 ①/⑩

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

NISSIN ラジアルクラッチマスターシリンダー	適応ハンドル	商品NO.
	φ22.2 専用	P4表参照

■ ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
接触禁止	表記の禁止行為を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- この商品のピストン径はφ19（横型 14mm相当）です。クラッチレリーズシリンダー側のピストンサイズに合った、車種にのみご使用ください。サイズを間違えるとレバーがグリップに接触してもクラッチが切れない等のクラッチ作動不良がおこり、追突や転倒等、大怪我や死亡事故につながる危険があります。必ず装着車両のクラッチシステムをご確認のうえ、ご使用ください。
- この商品は二輪自動車用のクラッチマスターシリンダーとしてのみご使用してください。内部構造の違いにより、二輪自動車（スクーター等）のリヤブレーキマスターシリンダー（左側ブレーキ）としては使用できません。
  また二輪自動車以外のブレーキ/クラッチマスターシリンダーとしては、使用しないでください。上記に関しましては保証対象外とさせていただき、お問い合わせにも対応できません。
- レース等の過酷な条件下での使用は、保証対象外となります。
- ブレーキフルードを充填する前に、レバーを頻繁に動かさないでください。
- ブレーキフルードは当社製の品番 78024（別売品）等を使用するか、純正または他社製ブレーキフルード DOT4（グリコールエーテル系）をご使用ください。グリコールエーテル系以外（シリコン系等）の DOT4 は使用できませんのでご注意ください。
  商品装着後、ブレーキフルード漏れが無いか定期的にチェックを行ってください。
- この商品は重要保安部品です。整備士以外の方は、取付作業等は行わないでください。（保証対象外です）

2013/02/12

⚠注意

接触禁止

- ブレーキフルードの取り扱いについては十分注意してください。
- ブレーキフルードが皮膚に付着するとかぶれやかゆみを生じる可能性があります。すみやかに水道水で洗い流してください。症状がひどい場合は専門医の診察を必ず受けてください。
- ブレーキフルードが目に入った場合は、だだちに作業を中止し水で十分に洗い流した後、専門医の診察を必ず受けてください。
- ブレーキフルードが塗装面等に付着すると、塗装面が痛みますので、万一付着した場合はすみやかに水道水で洗い流すか、脱脂洗浄剤を使用して確実に取り除いてください。

- 取付作業は必ず周囲の安全を確保し、車体を安定させた状態で行ってください。
- この商品のピストン径が車体側に対して適正サイズであっても、お取り付けを保証するものではありません。
- 横型クラッチマスターシリンダー（または純正部品）と比べ、形状が大幅に異なります。取付作業を始める前に、この商品の仮装着を行い、車体への接触やクラッチホースの取り回しを必ず確認してください。問題がある場合は、各部の取り付け状態の見直しや変更が必要となります。取り付け付け状態が改善されない場合は、この商品のお取り付けを中止してください。
（ハンドルの直進状態や、左右の操作時、レバー操作時にクラッチレバーやラジアルクラッチマスターシリンダーボディ、リザーバータンク、クラッチホース、バンジョーボルト等が、カウル類、スクリーン、メーター、電装ケーブル、チョークケーブル、スイッチ BOX 等の車体部分に接触していないことが、ご使用の条件にもなります。）
- この商品のバンジョーボルトの取出口は下側です。純正クラッチホースまたはご使用のクラッチホースが使用できない場合があります。バンジョー部分の角度や向きが合わない場合は、当社製ブレーキホースエクステンション（P4 参照）を同時装着していただくか、車両や使用しているハンドルに合わせて、適正なバンジョーフィッティングのブレーキホースへ変更してください。無理に曲げて取り付けしたブレーキホースの使用は大変危険ですので、絶対におやめください。

実施

- 完全にエアが抜けるまで確実にエア抜き作業をしてください。適合サイズであってもクラッチが切れない場合は、クラッチマスター、クラッチホース、クラッチレリーズシリンダー等の関連部品にエアが入っている可能性が高いです。特にラジラルクラッチマスターシリンダーボディ内とバンジョー付近のエアが抜けにくいため、十分にエア抜きを行なってください。
- クラッチプレートや、レリーズシリンダーを純正以外の物へ変更されている場合は、ピストン径が適正であっても使用できない場合があります。
- 装着後は各ケーブル類の取り回し、作動は正常か、車体側へ挟まっていないか等を十分に確認してください。
- 通常走行を行う前に必ず慣らし運転を行ってください。これは、今までとのレバータッチ等の違いをライダー自身に確認していただくものです。
- ガスケット類は損傷、摩耗が見られない場合であっても必ず新品と交換してください。
- ラジアルクラッチマスターシリンダー内部には、消耗部品が組み込まれております。販売店や認証工場にて整備士の方による定期的な点検を必ず行い、ブレーキフルードの交換または補充を必要に応じて行ってください。定期的点検は、不具合の早期発見や車体トラブル、重大な事故等を防ぐため必ず行ってください。
- 他社製ラジアルクラッチマスターシリンダーが車体へ接触し装着できない車両については、この商品も同様に車体へ接触する可能性があります。安全、確実な取り付けを必要としますので、実績と専門知識をもった販売店へご相談してください。他社製品との互換性や車体へのお取り付け情報に関するお問い合わせはお答えできない場合がございます。

- 装着後、走行前にクラッチレバーを操作し、レバーの稼動範囲に接触物が無いことを必ず確認してください。
- ラジアルクラッチマスターシリンダー（φ19）は、横型クラッチマスターシリンダー（タンク別体及び一体）のピストン径 14mmに相当しますが、車種により、クラッチミートのタイミグが異なる場合があります。
- ラジアルクラッチマスターシリンダーに装着されているクラッチスイッチは、取り外さないでください。取付ボルトには高強度のねじ緩み止め剤が塗布してあります。通常の作業手順で取り外そうとすると、ボルトのつぶれや破損の恐れがあります。ボルトのつぶれや、破損についてのクレーム等はお受けできません。予めご了承ください。万が一、クラッチスイッチ本体の作動不良等で取り外す場合は、慎重にボルトを外すため、必ず専門知識をもった販売店や認証工場へ作業を依頼してください。
- この商品に付属のレバーは、レバー位置の調整が可能ですが、走行中はレバー位置の調整を行わないでください。レバー位置の調整は必ず走行前の停車時に行ってください。
- この商品と関連部品の取り付けには、トルクレンチを使用し所定トルクで適切に締付してください。
- 取り付け後約１００ｋm 走行しましたら各部を点検してください。その後は約５００ｋm毎に必ず点検を行い、各部に異常がないか確認してください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行ってください。異常があった場合、直ちに車両の走行、または商品の使用を中止し、車両販売店や認証工場等に必ずご相談してください。
- 商品の詳しい取り付けに際しては取付車種のメーカーより発行されている、サービスマニュアルに準じた方法で取り付けを行ってください。
- **この商品は万が一、不具合等が発生した場合、同梱の当社製品保証書内の保証規定に基づいて保証修理をお受けすることができますが、商品の脱着や商品の不具合による車体側の修理、または整備等の商品以外の作業工賃（その他の費用）につきましては保証対象外とさせていただきます。予めご了承ください。**

法令違反

- この商品は重要保安部品です。
- 横型マスターシリンダーと比べ、ラジアルクラッチマスターシリンダーのエア抜き作業には高度な整備技術が必要となり独自の作業手順の理解が必要です。整備士以外の方による作業は不完全なエア抜きや、その他の整備の不備による重大な事故を起こす可能性があります。必ず販売店や認証工場にて専門知識を持った整備士の方が作業を行ってください。
- この商品は重要保安部品です。取り付け時や点検時に確認できたはずの不具合がその後に発生しても、当社では一切の責任をおいません。

分解禁止

- この商品は重要保安部品です。整備士以外の方による分解作業は、絶対に行わないでください。
- レバー部のグリスアップや、内部部品の交換作業等は、必ず販売店や認証工場にて専門知識を持った整備士の方へ依頼してください。

その他

- 商品を交換された場合、同じピストンサイズであっても構造上の違いから交換前と同じブレーキタッチにならない場合があります。推奨適合サイズはあくまでも当社がお奨めしているものです。個人差、組合せによっては違和感を感じる場合があります。予めご了承ください。
- この商品のレバーは、レバー位置調整が可能です。操作しやすい位置へ調整してください。
- 車種によっては車体側のクラッチスイッチハーネスの加工が必要になる場合があります。
- 補修部品は、当社指定の物をご使用ください。
- レバーやタンクキャップ等の他社製品との組み合わせは不明です。（保証対象外です）
- 適合ハンドル径は、φ22.2 のみです。ハンドル径φ25.4 のハンドルには適合しません。
- バンジョーボルトのサイズは M10XP1.25 です。
- ミラー取り付け部は、M10XP1.25 の右ネジ（正ネジ）ミラー対応です。
- この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中にご紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。

商品品番

品番	ボディ/レバー色	ピストンサイズ	品番	ボディ/レバー色	ピストンサイズ
78400	ブラック/シルバー	φ19 （横型 14mm相当）	64210	ブラウン/ブラック	φ19 （横型 14mm相当）
78402	ブラック/ブラック		64208	ゴールド/シルバー	
64209	ブラウン/シルバー		64207	ゴールド/ブラック	

本商品の特徴

- NISSIN 社製のラジアルブレーキマスターシリンダー。
- 5 段階レバーアジャスト機能付。
- ダストカバー等を装備して、公道使用も安心です。
- マスターシリンダーボディの下側にある刻印（3/4）がシリンダーの内径（φ19）となります。
  横型マスターシリンダー（別体式、一体式ともに）に換算すると 14mm相当です。

商品内容

No	パーツ名	数量	No	パーツ名	数量
①	ラジアルクラッチマスターシリンダー	1	⑧	タンクステー	1
②	タンク ASSY（組み付け済）	1	⑨	ミラーホルダー	1
③	タンクホース（組み付け済）	1	⑩	クランプ（ミラー穴無し）組み付け済	1
④	ホースクランプ（組み付け済）	2	⑪	ミラー穴埋めボルト M10	1
⑤	キャップスクリュ M6X20	1	⑫	エアブリーダー（組み付け済）	1
⑥	スペーサーφ12Xφ6.5X5.5L	1	⑬	エアブリーダーキャップ（組み付け済）	
⑦	ナット M6	1	⑭	クラッチスイッチ（組み付け済）	

オプション品 ①

商品名	品番	価格（税込み）	ホース色/ネジピッチ
ブレーキホースエクステンション（100mm）	68758	￥2,940	クリア　マスター側 P1.25　クラッチホース側 P1.25
	75199		ブラック　マスター側 P1.25　クラッチホース側 P1.25
	75201		クリア　マスター側 P1.25　クラッチホース側 P1.0
	75203		ブラック　マスター側 P1.25　クラッチホース側 P1.0

オプション品 ②

商品名	品番	価格（税込み）	
スイッチコネクター	65615	￥1,050	KAWASAKI 車用

※　車体側の 3 極カプラーをラジアルクラッチマスターシリンダー側の 2 極平端子変換するコネクターです。
※　ギヤポジションがニュートラルでのエンジン始動も、クラッチを握らなければスターターは始動しません。

オプション品 ③

商品名	品番	レバー色	価格（税込み）
アルミ削り出しアジャストレバー	75731	クリア	￥9,975
	75732	ブラック	

取付方法

※全ての作業は、販売店または認証工場にて専門知識を持った整備士の方が作業を行ってください。ブレーキフルードが車体や衣服に付着しないよう、ウエス等で保護しながら作業を行ってください。万が一付着した場合は、水道水で洗い流すか、脱脂洗浄剤を使用して確実に油分を取り除いてください。

1．純正クラッチマスターシリンダーやクラッチホースからブレーキフルードを抜いてください。

2．純正クラッチマスターシリンダーからバックミラー､クラッチスイッチハーネスを接続部から外します。

3．純正クラッチマスターシリンダーからバンジョーボルト、ガスケット（ｘ２）を外し、クラッチホースを外します。
（ブレーキフルードが車体や衣類につかないよう十分に注意して作業を行ってください。）

4．純正クラッチマスターシリンダーの取り付けボルトを外し、車体から取り外します。
(純正マスターシリンダーのフルードは必ず抜いて、脱脂してから保管してください。)

5．⑨ミラーホルダー、または⑩クランプ（ミラーホルダー無し）を使用して①ラジアルクラッチマスターシリンダーを車体へ取り付けます。

※．⑨ミラーホルダー、または⑩クランプを取り付ける際は、（UP▲）マークを上に向け、２本のキャップスクリュの上側のボルトを先に規定トルク（9～12Ｎ・m）で締め付け、レバー角度を調整した**後に下側ボルトを規定トルク（9～12Ｎ・m）で締め付けてください。**上下均等に締めるとホルダーが締まりきらなかったり、折れたりする場合がありますので必ず順序を守って締め付けてください。**（オーバートルク（締めすぎ）による、⑨ミラーホルダーまたは⑩クランプの折れ等の破損は保証対象外です）**

6．⑤キャップスクリュ M6X20、⑥スペーサーφ12Xφ6.5X5.5L、⑦ナット M6 を使用して、⑧タンクステーを①ラジタルクラッチマスターシリンダーのタンクへ組み付けます。

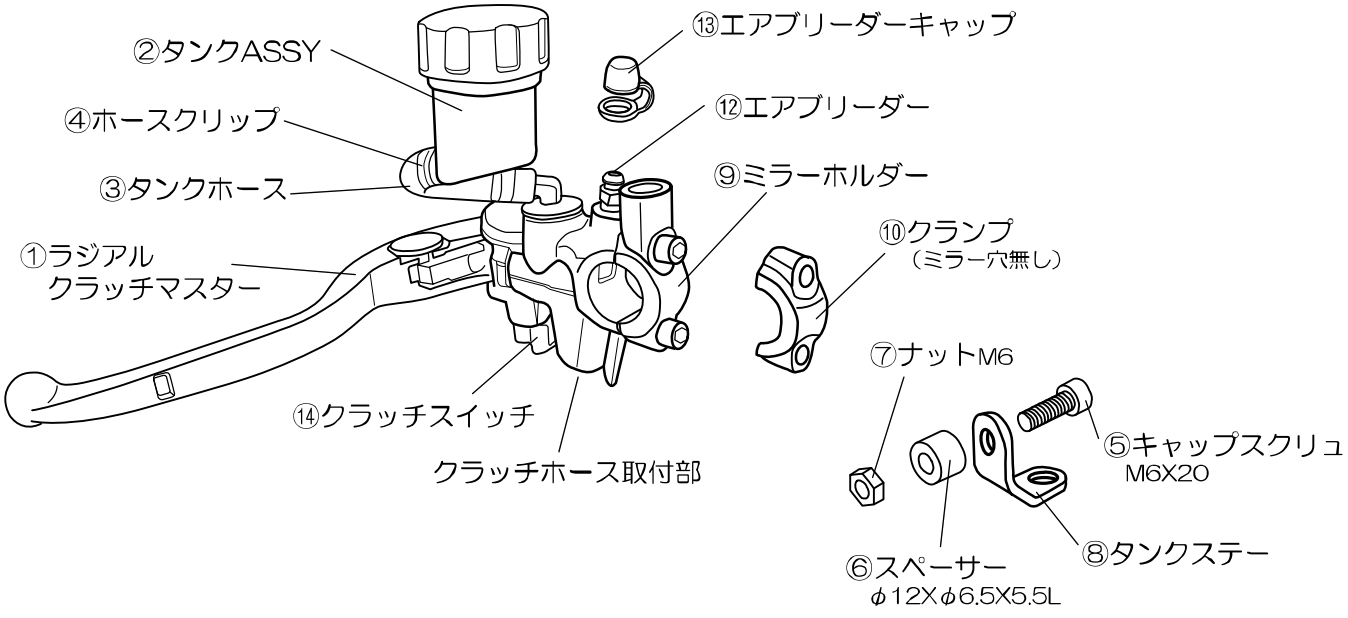
7．⑨ミラーホルダーと純正ミラー（M10）を使用する場合は、⑨ミラーホルダーと純正ミラー（M10）の間に⑧タンクステーを挟み込み取り付けしてください。純正ミラー（M10）を使用しない場合は、⑪ミラー穴埋めボルト M10 を使用して取り付けてください。

※．⑩クランプ（ミラーホルダー無し）を使用する場合は、車両の状況に応じて②タンク ASSY を固定してください。

8．①ラジアルクラッチマスターシリンダーのクラッチスイッチ部に車体側のハーネスを接続します。

※．KAWASAKI 車の場合は、車体側のハーネス３本のうち黒（イグニッション）と黒/黄（アース）のハーネスを平型端子に加工して､①ラジアルクラッチマスターシリンダーのクラッチスイッチ部に接続します。**（別売のスイッチコネクター品番 65615（P4 参照）を使用すれば、加工は必要なくなります。）**

ギヤポジションがニュートラル時のエンジン始動も､クラッチを握らなければスターターは始動しません。



９．新品のガスケットと純正バンジョーボルトを使用し、適正なブレーキホースを取り付けます。

１０．②タンク ASSY のキャップを外し、ダイヤフラムを取り外し、リザーバータンクにブレーキフルードを注ぎエア抜きを行います。タンクホースを握ったりレバーを何度かストロークさせたりして、ラジアルクラッチマスターシリンダー内のエアをリザーバータンク側へ逃がしてください。

※．**ブレーキフルードは当社製の品番 78024（別売品）等を使用するか、純正または他社製ブレーキフルード DOT4（グリコールエーテル系）をご使用ください。グリコールエーテル系以外（シリコン系等）の DOT4 は使用できませんのでご注意ください。**

１１．レバーに多少タッチが出るまで行います。エアが抜けにくい場合、メーカー指定のフルード交換ツールを使用いただくか､当社別売品:ブレーキフルード交換ツール(品番 71123/価格￥7,875 税込）やブレーキエア抜きセット（品番 61825/価格￥2,520 税込）等のご使用をお勧めします。

１２．エア抜きツールのホースをラジアルクラッチマスターシリンダーのエアブリーダーに差し込み、レバーを何度かストロークさせ、レバーを握った状態でラジアルクラッチマスターシリンダーのエアブリーダーをゆるめエアを抜きます。レバーは握ったままの状態でエアブリーダーを締めます。クラッチレリーズシリンダー側も同様の作業を行います。この作業をエアが完全に抜けきるまで何回か行ってください。エア抜きが完了したら、ラジアルクラッチマスターシリンダーのエアブリーダーを（4～7N･m）で締め付けてください。クラッチレリーズシリンダー側は、取り付け車種のサービスマニュアルを参照し、適正トルクで締め付けてください。

※．締め付け不足またはオーバートルク（締めすぎ）は、ブレーキフルード漏れの原因となりますので、十分に注意して作業を行ってください。

※．**エアが抜けにくい場合は、リザーブタンクから抜け易い様に①ラジアルクラッチマスターシリンダーの取り付け角度を変更することで、抜けやすくなる場合があります。**

※．**上記作業でもエアが完全に抜けきらない場合はクラッチレリーズシリンダーのエアブリーダーに直接ブレーキフルードを押し込む、又は吸い出すタイプの特殊工具を使用し、エアを完全に抜いてください。**

１３．エア抜き作業終了後、リザーバータンク内の油面調整を行い、ダイヤフラム、リザーバータンクキャップを取り付けます。レバーを何度かストロークさせた後、タッチの確認、クラッチの切れの確認を必ず行ってください。

１４．①ラジアルクラッチマスターシリンダー、クラッチレリーズシリンダー、またその他の場所でブレーキフルードが付着している部分を水道水で洗い流すか、脱脂洗浄剤を使用して確実にブレーキフルードを取り除いてください。また①ラジアルクラッチマスターシリンダーとクラッチレシーズシリンダーのエアブリーダーのねじ穴部にもブレーキフルードが残りやすいため入念に脱脂をしてください。(ブレーキフルードは、塗装を傷める恐れがありますので、完全に取り除いてください。ブレーキフルードが残りやすい部分は、入念に脱脂をしてください。)

※．**構造上ラジアルクラッチマスターシリンダーのエアブリーダー部はブレーキフルードが残りやすい形状になっています。走行中にエアブリーダー周辺からブレーキフルードがにじんでくる症状の大多数が、洗浄不足による残留フルードがにじんでくる症状です。エアブリーダー内部は確実に残留フルードの洗浄を行ってください。**

１５．最後にクラッチレバーを強く握った状態で、レバー位置が変化しない事、ブレーキホース、バンジョー取付部分等からフルード漏れ等のない事、ハンドルを左右いっぱいに切った状態でクラッチ操作をして不具合が無いことをご確認してください。

１６．各部を点検し、異常が無ければ作業は終了です。

⚠注意

エア抜き作業は、マスターシリンダーの状態のみならず、関連する油圧クラッチ部品の具合によってエアが抜けにくい事があります。 （クラッチレリーズシリンダー側のメンテナンスが併せて必要な場合があります。）
ブレーキ側よりもタッチが分かりにくく、エア抜けが判断しにくいですが、手順を理解した作業を行なえば、手間はかかりますがエアは必ず抜けます。一連の作業でブレーキフルードを大量に使う場合も当然考えられますが、関連する 部品のエア抜き（安全の為）には必要不可欠です。手間を惜しまず確実な作業を行ってください。

ZRX1200S 取り付け参考例

1．クラッチホースの取り回しが純正と異なるため、クラッチホースを変更（純正より 50mm程度長い物）するか、ブレーキホースエクステンション（P4 参照）をご使用することをお勧めします。

2．下図のように純正のチョークケーブルと①ラジアルクラッチマスターシリンダーが接触するため、純正スイッチボックスの位置を回転させて変更してください。

【下側からの図】

3．ハンドルを右いっぱいに切った際に、本品が車体のスクリーンやミラーに接触しないようにレバー位置や角度を調整して取り付けしてください。

【スクリーンに接触】

【ミラーに接触】

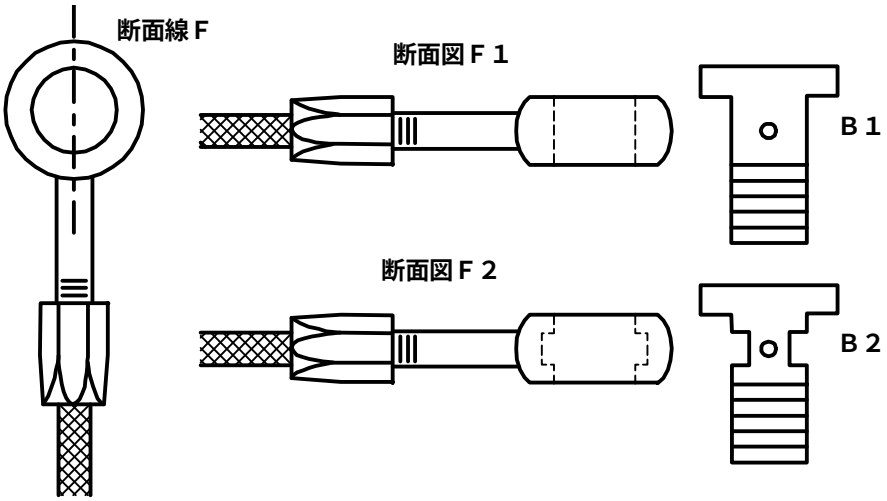
■ どうしてもエアが抜けない場合の確認事項 ■

●マスターシリンダーが機能していますか？

マスターシリンダー本体のリザーバータンク内にブレーキフルードを入れ、バンジョーボルトの取付部を指で押さえます。レバーを握るときは指を離し穴を開けておき、レバーを戻すときは指で穴をふさぎます。ブレーキフルードが出てこなければ、マスターシリンダー本体に問題が有ります。

●ブレーキホースの取りまわし、オイルラインの正常に通っていますか？

ブレーキ（クラッチ）ホース、バンジョーボルトなどのオイルラインが正常に通っていないと、ブレーキフルードが行き渡り難くなり、エアーも抜け難くなります。また、バンジョーボルトとブレーキホースの組み合わせにも注意が必要です。（下図参照）
（注；クラッチホースは、長さの関係上、基本的にエアは抜けづらい傾向にあります。）



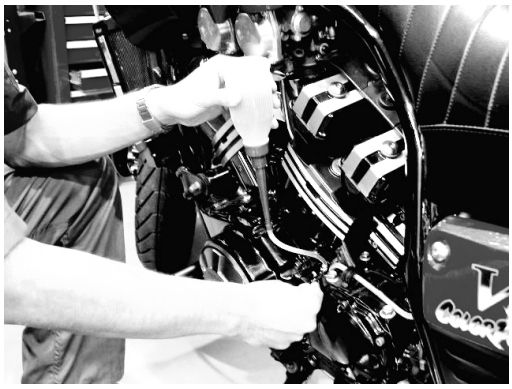
※ Ｆ１とＢ１の組み合わせだとオイル通路が狭くなってしまうため、なるべくＦ２かＢ２の形状のものと組み合わせて使用して下さい。

●エアブリーダーボルトが錆びたり、変形したりしてオイル通路をふさいでいませんか？

取り外して確認して下さい。オイルの通路をふさぐ原因となるエアブリーダーの錆び、オーバートルクによる変形がみられる場合は、直ちに交換して下さい。また作業後は、エアブリーダー内部はブレーキフルードが残りやすいので、入念に脱脂を行って下さい。

上記に異常が無ければ、次ページからの方法であらかじめすべてのオイルラインにフルードを満たすことにより、フルードをスムーズに導びく事ができます。（よび水効果）

【通常のエア抜きキット以外に用意するもの】
・オイル差し
・エアブリーダーと同径のホース
（オイル差しとエアブリーダーにつなぎ、オイル差しに圧力をかけても外れない程度のもの）
・配管用シールテープ



１．エアブリーダーを取り付ける際、エアブリーダー側のネジ山にシールテープを巻いてから組み付けます。

※．オイル差しで圧力をかけた際のにじみ防止になります。

２．市販のオイル差しにブレーキフルードを入れ、用意したホースをつなぎます。

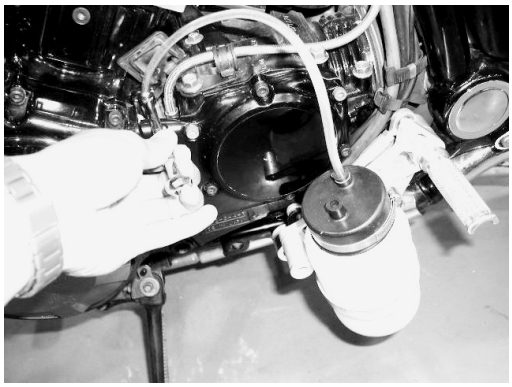
３．ホースをエアブリーダーにつなぎます。

４．エアブリーダーをゆるめ、オイル差しをギュッとつまみ、フルードを流し込みます。

５．しばらくすると、マスターシリンダー側のタンクからホース内のエアとともにブレーキフルードが出てきます。この時、オイル差しの握り直しをしますとエアが混入しますので、一気に流し込んでください。

６．ブレーキフルードがタンクの穴よりも上にきたら、エアブリーダーを締め付け、ブレーキフルードをタンクに少し注ぎ足します。

７．マスターシリンダーのタンクホースを指でつまんでタンクホース内のエアを上に逃がします。
この時点で、レバーに握りしろが出はじめます。
この作業は、通常のエア抜き作業の間も頻繁に行ってください。
タンクのホース内のエアをしっかり逃がさないと、そのエアを下へ送ってしまいます。



８．通常通りのエア抜き作業を行い、完全にエアを抜きます。

補修部品

商品名	品番	色	価格（税込み）	備考
クラッチレバーASSY	65603	シルバー	￥5,040	ラジアルクラッチ専用
	65604	ブラック		
タンクステー	65852	シルバー	￥735	ラジアルクラッチ専用
	65853	ブラック		
ミラーホルダー	36207	ゴールド	￥1,575	ミラー取り付け部 M10XP1.25
	36206	ブラック		
	65822	ブラウン		
クランプ（ミラー穴無し）	43101	ゴールド	￥1,260	
	43099	ブラック		
	66920	ブラウン		
タンク ASSY	65994		￥2,100	ホース、ホースクリップ X2 付
リペアピストン	65995		￥4,200	φ19 ラジアルクラッチ専用
クラッチスイッチ	66826		￥2,310	ラジアルクラッチ専用
スペーサーφ12Xφ6.5X5.5L	66827		￥420	
タンクホース単体	77865		￥1,155	ホースクリップ X2 付
タンクホース取付コネクタセット	42428		￥1,050	コネクタ X1 O リング X1 クリップ X1 ラバーブーツ X1
エアブリーダー（ステンレス）	33824	ステンレス	￥1,470	M8 X P1.25

株式会社 デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで